

主があなたにいわれることが何であれ、それをしなさい

コナーズビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1953年06月01日

1 サタンは、どうやら今夜、私がおこへ来るのを妨げようとしたようですが、主が道を開いてくださり、こうして来ることができました。本当に、心から感謝しています……。

ちょうど会場に入って来たとき、昨夜ストレッチャーに横たわっていたあの小柄なご婦人が入って来られました。今夜は良くなっていると聞き、胸がいっぱいになりました。主が彼女になしてくださったこの御業に、どれほど感謝していることでしょうか。

今夜は少し冷えておりますから、皆さんを長くお座りにさせたくありません。お話はすでにバクスター兄弟がしてくださいましたので、私はすぐに病の方々のために祈りに入らせていただきます。

どうか主の祝福が皆さん一人ひとりの上にありますように。

これから、ヨハネによる福音書第2章から、少し聖書をお読みいたします。

「その三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があった。そこにはイエスの母がいた。

イエスも、その弟子たちも、その婚礼に招かれていた。

ぶどう酒がなくなったとき、イエスの母はイエスに言った。『ぶどう酒がありません。』

イエスは母に言われた。『婦人よ、あなたはわたしに何を求められるのですか。わたしの時はまだ来ていません。』

すると母は下働きの者たちに言った。『あの方があなたがたに仰せになることは、何でもそのとおりにしなさい。』

2 私は、この言葉を特に強調しておきたいのです。「あの方があなたがたに仰せになることは、何でも、そのとおりにしなさい。」——なんと素晴らしい御言葉でしょう。「あの方が語られること、そのすべてを行いなさい。」

そして主は、御自身の御言葉の中でこう仰せになっています。「あなたがたが祈り求めるどんなことでも、すでに受けたと信じるなら、そのとおりになる。」

私たちがすべきことは、まさにこれですね。今夜、この集会で、皆さんの心がもっと主を愛するようになる——そんな出来事が起こるようにと、私は祈っています。そして皆さん、これまで私はもっと大きな群衆も見てきましたが、これほどに心の優しい、そして応答の良い方々に出会ったことはありません。

この道を歩んでこられた皆さんが、どれほどの戦いを通してこられたか、私はよく存じています。険しい道でしたね……。ですが、それでもこの道は祝福に満ちた道ではありませんか。戦いがなければ、勝利もありません。勝利とは、戦いを通して初めて与えられるものです。もし、ただ与えられるだけなら、それは「勝利」とは呼べません。「勝ち得る者こそが、勝利を持つ者である。」主イエスも地上に来られたとき、戦いを経験され、そして勝利を得られました。今夜、私たちも戦いがあります。しかしキリストと共にあるなら、勝利を得ることができるのです。では、主の祝福が皆さんお一人お一人の上にありますように。すぐに病の方々をお呼びし、祈りの時に入りましょう。今夜は冷えておりますし、子どもたちや病気の方々もおられますので、長くはかかりません。では私たちの頭を垂れ、ひとことお祈りいたしましょう。

3 天の父よ、私たちは、あなたのしもべとして、へりくだって御前に参ります。

病の中にある方々——その苦しみを思い、深いあわれみの心を抱きながら近づきます。毛布にくるまって座っておられる方もいますし、あなたが助けてくださらなければ、長く生きられないかもしれない方々もおられます。どうか今夜、主よ、一人として失望する者が出ませんように。ここに来るために払われたこの努力を、あなたが覚えてくださり、あなたの聖霊が今夜、この場に深く降りてくださって、その心に大なる信仰を与えてくださいますように。すでに備えられている“救いの道”を、はっきりと見ることができるよう。あなたは道を備えておられます。ですから父よ、その地図——その青写真——を、必要としているすべての人々に、今夜、明確に示してくださいますように。

この町を祝福してください。ここに仕える牧師たちを祝福してください。

町のすべての役員たちを祝福してください。集会のために協力してくださっているこれらの牧師たちを豊かに祝ってください。そして、遠くからあなたを慕ってここへ集まって来られたすべての方々、働きを支えてくださるすべての方々を祝福してください。そして最後に、どうか私を覚えてください。御名によって奉仕する、この小さき者を助けてください。今夜、何かが成され、人々がこれまで以上にあなたを愛するようになりますように。私たちは知っています——信仰には愛が伴うことを。ですから、天の父の愛がこの場所に満ちあふれ、信仰が、まるで鷲のように高く高く舞い上がりますように。そして、すべての病、恐れ、この世の不安から離れ、ただ主イエスと共にある静けき場所へ魂が飛び立つことができますように。そのとき、主の御力がそこにあり、彼らを癒してくださいますように。私たちはこの祈りを、主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

4 二十年前、まだ少年の頃、私はイエス・キリストを救い主として心にお迎えしました。あの日から今日まで、私はずっと主を愛し続けてきました。

皆さんもご存じのとおり、私は多くの辛い戦いを通してきました。

私の人生は、決して安らぎの花園のようなものではありませんでした。次から次へと試練が押し寄せてきました。ある日のことを覚えています。

私は妻を失い、赤ん坊を失い、父を失い、兄を失いました。

妻と赤ん坊は、わずか数時間の違いで天に召されました。

ちょうどその頃、1937年の大洪水の後で、私はブーツを履いて、道を歩きながら泣いていました。そのとき、インディアナ州の上院議員で、私の教会のメンバーであるアイスラー氏が車で通りかかり、止まって、車から飛び降り、私の肩に腕を回し、こう言いました。「ビリー。」私は涙をぬぐいながら答えました。

「はい、アイスラーさん。」すると彼は言いました。「こんな時……あなたは今、主をどう思っているのかね？」私はこう答えました。「私は、主を愛しています。」

ほかにどうすることができるでしょう。私は、すっかり主の一部となってしまったのです。」すると彼は言いました。「奥さんと赤ちゃんを取られたあとでも、そう思うのかね？」私は言いました。「主が何をなさったとしても、私は主を愛しています。」もし裁きの場で、主が私を退け、『あなたはふさわしくない』と言われたとしても、主は正しいのです。そして、もし地獄の中でなお“愛する”ということができるのなら、私はそこでも主を愛するでしょう。主が私のためにしてくださったすべてを思えば。もし私を退けられても、主は正しいのです。私はそれに値します。私たち全員がそうです。主の御言葉は真実です。

5 私は神の癒しを信じています。

それは……この心の奥底で、私は今夜ここに神がおられると信じているからです。

まさにこの光がここにあるのと同じように——同じくらい確かな現実として、

神の御力が存在しているのです。

神の力は、今ここにおられる一人ひとりの上に、

この光が降り注いでいるのと同じほどに注がれています。

さて、私たちはよくこの光のことを考えますが……

皆さん、知っておられますか？

神の癒しや御力を信じる人々は、多くの場合“熱狂的だ”と見なされてきました。

昔から、いつの時代でもそうでした。

私は時々、この光を見ると考えさせられるのです。

この電気というものは、世界が創造されたそのときから存在していたのです。

しかし、人々はつい最近まで、その存在も本質も知らなかったのです。

昔ある人が、稲妻の光を見て、

“あれには何かある。そこには力があるのだ”

と思いました。

そして彼は、風の尾に鍵をつけて空に飛ばし……それがベンジャミン・フランクリンです。

やがて電気がその線を伝って降りてきて、瓶の中に飛び込みました。

彼は電気を“捕えた”のです。

そして叫びました。

「ついに手に入れた！手に入れたぞ！」

けれど、彼自身、それが何であるかをまだ理解していませんでした。

私は時々思うのです。

これは、私たちがキリストを見いだすときの姿そのものではないか、と。

私たちは歌います。

「手に入れた！私は手に入れた！」

しかし、その実際を、どれほど深く理解しているのでしょうか。

ちょうどフランクリンが電気を捕えたときのように、

私たちは、まだ知らないことがたくさんあるのです。

6 しかし、その後“トーマス・エジソン”と呼ばれる人物が現れました。

彼は、稲妻が光を放つのを見て、こう思ったのです。“もしこの光が、導線に沿って流れるなら、人類の役に立つはずだ。世の中を良くする力になるはずだ。

神がこの世に置かれたものなのだから、きっと人々を益するために用いるべきだ。“そして彼は言いました。「これは灯りになる。」

周りの人々は、彼を“気がふれた”と笑いました。

しかし、彼は決して狂ってはいませんでした。批判を受けながらも、

彼はコーヒーとサンドイッチだけをそばに置き、何千、何万という種類の導線を試し続けました。疲れを知らず、ただ信念を持って。そしてついに、“光を生み出す線”を見つけたのです。いまでは電気はあまりにも当たり前なものになりました。もし私がスイッチを押して灯りが点かなかったとしても、“電気なんて存在しない”とは言いません。“どこかで配線が狂っているのだな”と言うでしょう。

同じように——私が人のために祈って、もしすぐに癒しが見られなかったとしても、“神の癒しなんて存在しない”と言うのは間違いです。どこか“私たちの配線”が絡んでいるだけなのです。なぜなら、神こそが癒し主だからです。

聖書は言っています。主は癒し主であられた。主は今も癒し主であられる。

そしてこれからも永遠に、私たちの癒し主でいてくださる。

主は エホバ・ラファ(癒し主)、

エホバ・マナセ(慰め主)、

エホバ・イレ(備えてくださる主)……。

エホバの贖いの御名すべてが、主イエスのうちに置かれたのです。

イエスは私たちの救い主、盾、守り、癒し主——

昨日も今日も、いつまでも変わらないお方。そしてそのイエスが、
今夜もここにおられます。

7 ダビデはこう言いました。「深い淵は深い淵に呼ばれる。」

もし私の心の奥底で、“深み” へと呼び求める声があるなら——

ここで何かを求めて呼ぶものがあるなら——そこには必ず、それに応える“深み”が存在するはずで
す。言い換えれば、私はよくこう申し上げてきました。

「魚の背中にひれが付いているということは、そのひれを使うための“水”が、まず先に存在したとい
うことだ。」もし水がなかったなら、魚はひれを持つ必要などなかったでしょう。また、「地に木が生えるた
めには、まず“地”が存在しなければならなかった。」大地がなければ、木はそこに生え出ることなどでき
ません。

8 しばらく前のことです。ある小さな赤ん坊——小さな男の子が、鉛筆の消しゴムを食べているとい
う記事を読みました。それだけではなく、自転車のペダルまでかじってしまったのです。病院でその子を調
べると、その子の体は“硫黄(サルファー)”を必要としていることがわかりました。ゴムの中に含まれて
いる硫黄を求めて、体が必死に欲していたのです。その小さな子は大地から造られた存在です。私たち全
員、土から造られました。そしてその土の中には硫黄があります。

ですから、確かに——内側で硫黄を求める叫びがあるということは、必ず、その叫びに応える“硫黄”
が存在していなければならないのです。

もし外側に硫黄がなければ、内側でそれを欲しがる必要はありません。

おわかりでしょうか？さて、ここにおられる皆さんのうち、神の癒しを信じる方はどれくらいおられ
ますか？もし、皆さんが世界中でただ一つの“神の癒しを信じる群れ”だったとしても……あるいは、私
一人だけが、またあなた一人だけがそれを信じていたとしても……心の中に“創造された信仰”があ
るということは、その信仰を創造した“創造主”が必ず存在するということなのです。これは真理でし
ょう？もし、あなたの心の中に「神によって癒されたい」という深い飢えがあるなら、それに応える
“泉”が、どこかで必ず開かれているのです。

そうでなければ、その飢え自体が存在するはずがありません。

——「深き淵は深き淵に呼ばれる。」

9 今夜、あなたがたはどうして、この冷たいコンクリートの上に座っておられるのでしょうか。どう
して毛布にくるまり、寒さの中でじっと待っておられるのでしょうか——この、小さな群れの方々
が、国のさまざまな地方から集まって来られたのでしょうか？それは、あなたがたが信じている
からです。

あなたがたの内側に、“呼び求める何か”があるからです。ここにおられる方で、

「神ともっと近く歩きたい」と願う人はどれほどおられますか？

——私たち全員です。もちろんです！神様には、まだまだ見いだすべき“豊かな深み”がある
のですから。

10 宗教改革の最初の時代、マルティン・ルターが「義人は信仰によって生きる」と宣べ伝えまし
た。するとその後、ジョン・ウェスレーという人が立ち上がり、

「人は新しく生まれ変わるのだ」と信じ、さらに前へと歩みを進めました。

そして、人々が神をもっと深く求め始めるとき、そこにはいつも“もっと豊かな神の満ちし”
が与えられてきました。やがてウェスレー派の人々が安住し始めたとき、ペンテコステが起
こりました。そして今、ペンテコステの人々が落ち着き始めると、また新しい“何か”が立
ち上がってくるのです。絶えず——

深きものが呼ばれるところには、応える深きものがある。そのとおりですね？

——「深き淵は深き淵に呼ばれる。」

11 ですから、主が語られたことは、そのまま行いなさい。

主が何をお語りになっても、疑わずに信じるのです。

主が語られたとおりに従えば、

神は必ずそのことを成し遂げてくださいます。

完全な愛が恐れを追い出すように、

完全な信仰は、すべての恐れと疑いを追い出します。

あなたが心から信じるなら、

たとえどんな症状があっても、

どんな結果が見えても、

変わらず信じ続けることができるのです。

皆さんは、こんな経験をされたことがありますか？

“どう見ても無理に思えるのに、

それでも——絶対に起こるとわかっている。”

そんなふう信じ切っているとき、

まわりがどうであれ、必ずそうなるを知っている……。

主イエスが何かを語られるとき、

その御言葉は種です。

そして、すべての種は“その種の種類どおりの実”を結ぶのです。

救いの約束の種なら、救いを生み出します。

癒しの約束の種なら、癒しをもたらします。

喜び、平安……あなたが必要とするどんなものでも、

キリストのうちには、すべての贖いの祝福が備えられています。

そして今夜、イエス・キリストは

あなたの告白を取り成す大祭司として(ヘブル3:1)、

天の御座の右に座して、

あなたの告白のゆえに執り成しておられるのです。

12 さて、救われる前には……

私はよく人々がこう言うのを聞きます。

「突然、“激しい風”のように押し寄せてきて、わたしを打ったんだ。」

それは本当にあったことかもしれません。

けれども、それがあなたを救った理由ではありません。

あなたが救われたのは、“信じた”からです。

どんな体験が伴ったとしても、

まず第一に、あなたは“信じた”のです。

そして、もし何も感じなかったとしても……

イエスは一度として、「それを感じたか」と尋ねられたことはありません。

救いは“感じること”ではなく、信仰によるものだからです。

ですからあなたは、

そこから立ち上がり、心の中で

“私は救われた”と確信し、

人々に向かって言います。

「私は救われました。」

あなたは救われたと告白し、

救われたと信じ、

救われた者として行動する。

すると、救いの実が働くのです。

やがて周りの人々も気づきます——

あなたが救われたということ。

あなたがそう信じ、そう歩んでいるからです。

しかし一方で、

もしあなたが“救われていないかもしれない”と思い始め、

証しすることをやめてしまえば、

たちまち元の状態へと逆戻りしてしまいます。

そうでしょうか？

なぜですか？

主はあなたの“告白”の大祭司であられるからです。

主は、あなたの告白に働かれる大祭司です。

主はあなたのとがのために傷つけられ、

その打ち傷によって、あなたは癒されたのです。

ですから、

あなたが癒しを受け取るときも同じです。

ここ前のプラットフォームに来る必要はありません。

あなたは 今座っているその席で、こう言うのです。

「主よ、私はあなたの御言葉が真実であると信じます。

今、あなたを私の癒し主として受け入れます。」

もしあなたがそれを心から信じることができるなら——

本当に信じることができるなら——

すべての疑いは消え去ります。

13 私はここ、プラットフォームに立っていると、

だいたい九十五パーセントの人々が……

いえ、すみません。言い換えさせてください。

九十九パーセントの人々は、“信仰”ではなく“希望”を持って来られるのです。

皆さんは言うかもしれません。

「私は信仰を持っていますよ、ブラナム兄弟。」

けれども、もし本当にそうなら——

“なぜここに来ているのですか?”

ということになるのです。

あなたの“行動”そのものが、

まだ信じ切れていないことを示しているのです。

信仰には敗北というものがありません。

信仰は“完全”なのです。

希望は……

「神がしてくださると“思う”。私はそう“願っている”。」

そういう段階です。

しかし、聖書は言います。

「信仰とは、望んでいる事柄の“確信”であり、見えない事実の“証拠”である。」

つまり、あなたが心から信じるとき、

あなたはこう言うのです。

「私は癒された。」

なぜなら、心の内側で信じているからです。

するとあなたは癒された者として“行動”します。

他の人に証しします。

「私は癒されました。」と。

すると、救いが働くのと全く同じように、

癒しも働くのです。

おわかりいただけましたか?

——「あの方があなたに仰せになることを、何でも、そのとおりにしなさい。」

14 さて、このプラットフォームの上で、

聖霊が語られるとき——

それは、必ず“人間の唇”を通して語られます。

聖霊は、いつもそのように働かれます。

ここにおられるのは、私の後ろに立っておられる牧師の先生方だと思いますが……

兄弟たち、

あなたがたは今まで一度も「自分で」説教をしたことはありません。

聖霊が、あなたがたを通して説教をなされたのです。

それが真理です。

私たちが説教するものではありません。

聖霊が語られるのです。

もちろん、私たちは原稿を書いたり、

メモを読んだりするかもしれませんが。

しかし、それは“説教”ではありません。

説教とは、

インスピレーション(靈感)が降ってきたときに起こるものです。

聖霊の靈感を通して語られるものです。

聖霊ご自身が“油注ぎ”を与えられるのです。

ただ文字を読むだけなら、

そこに何も起こりません。

しかし、

聖霊がその言葉を捕え、それを人々の心に届けるとき、

その瞬間に何かが働き始めるのです。

それこそが聖霊の働きです。

あなたの牧師が語っているわけではありません。

聖霊があなたの牧師を通して語っておられるのです。

あなたへのメッセージを届けておられるのです。

15 さて、誰かが“靈感のもとで語る”とき、

その人自身は、自分が何を語っているのか分かっていないことがあります。

すると別の人が、やはり“靈感のもとで”その言葉を解き明かし、

そのメッセージを、必要としている特定の人へと

まっすぐ導くことがあります。

そしてその人の問題がどこにあるか、

何が起こったのか、

何をすべきなのか……

そうしたことが示されることがあります。

これらはすべて、

聖霊の靈感による働きです。

聖霊がその賜物を教会に送られるのです。

牧師、説教者、教師、使徒、預言者……

それらすべては神の賜物であり、

聖徒たちを整え、教会を建て上げるために働くものです。

そしてそれらすべては、

神の大きなひとつの“からだ”として一つに結ばれています。

私たちがどの教会に属していても関係ありません。

あの教会、この教会、別の教会……

それは問題ではありません。

私たちが神の御霊から生まれた者であるなら、

私たちは神の息子、娘なのです。

なんと素晴らしいことでしょう。

今夜、すべてのクリスチャンがこの真理を見ることができたなら……

どれほどのリバイバルが起こることでしょうね？

16 少し前のことです。

私はある小さな従軍チャプレン(軍の牧師)と話していました。

彼は、朝鮮ではなく、前の第二次大戦のとき、日本に駐留していたそうです。

彼はこう語ってくれました。

捕えられ、連行され、

ほとんど飢え死にしそうになっていたと。

与えられたのは、古くてカビの生えたようなパンだけでした。

彼は外に立ち、手を高く上げ、

ただ主を賛美し始めたと言います。

「主よ、私には家に3人の小さな子どもと妻がおります。

しかし、どうやら私はここから天国に行くことになるのでしょう。

ですから、もしあなたが私をここから召されるのであれば……

どうか、あなたの御心がなされますように。」

そう祈ったそうです。

すると彼は、ふと有刺鉄線の周りを歩く小さな哨兵の姿に気づきました。

彼はその兵士の様子を見ながら、こう思ったのです。

“あの人は、私に何か話したいのではないか……。”

近くへ行くと、その日本人の兵士がそばを通りかかりました。

彼はこちらを見て、こう言ったのです。

「お前、クリスチャンか？」

彼は言いました。

「はい、クリスチャンです。」

すると兵士は微笑んで言いました。

「わたしも、クリスチャン。」

——主にある二人の兄弟。

一人はアメリカ人、もう一人は日本人。

もしその日本の兵士が自由にできたなら、

彼はそのクリスチャンの兄弟を、きっと解放してやったことでしょう。

17 ロシアのことを思い出します……。私がフィンランドに行ったときのこと。

あの小さな少年が、死からよみがえらされたとき——ロシア人も含めて、何千人もの人々が押し寄せてきました。ロシア人たちが国境を越えて来ると、

彼らはフィンランドの人々を捕まえて……ご存じのように、ふだんは互いに憎み合っているのに——彼らは互いに腕を回し、抱き合い、涙を流し、そして両手を高く上げて神を賛美したのです。もし 神の御国が人の心に宿るなら、ロシア人とフィンランド人が互いを抱きしめ、“兄弟”と呼び合うことができるのです。

それならば、世界中のどの国の人々にも、同じことができるはずです。

それが神の約束です。しかし、悲しいことに……クリスチャンであると告白しながら、その愛を持っていない“教会”を見ることがあります。それが本当に痛ましいのです。ここで私は、この詩が大好きなのです。

悲しげな調べで語らないでほしい

人生がただの空しい夢だなどと。

眠っている魂は死んでいる。

物事は見たままではないのだ。

けれど人生は真実であり、真剣であり、

墓こそがその目的ではない。

「あなたは塵だから塵に帰る」

それは魂に向けて語られた言葉ではない。

偉大な人々の生涯は私たちに思い起こさせてくれる、

私たちも高貴に生きることができると。

別れゆくとき、私たちの跡には

時の砂に足跡を残すことができるのだと。

その足跡は、やがて誰かが、

人生という厳かな海を航海しているとき、
打ち砕かれ、さまよう兄弟が、
それを見てもう一度勇気を取り戻すかもしれない。
そのとおりですね？

“黙って追われる牛のようになってはならない。

戦いの中で、英雄となりなさい。”

18 もし私たちが本当のクリスチャンであるなら……もし私たちが新しく生まれた者であるなら……もし私たちがキリストを愛し、キリストの教会を愛し、

そして今夜ここに、主の御国を求め、主の御力を求めて集まっているのであれば——信仰を取り上げ、主が仰せられることを行いましょう。主が語られるとおりに従いましょう。主は、ご自分のなすべきことを……それ以上にさえ、しておられます。そう思いませんか？もしあなたや私が……たとえば私が誰かに手紙を書いて真実を伝えても、それでもなお信じてくれなかったら、私にはそれ以上、忍耐を続ける自信はないかもしれません。ですが——主は違います。主は忍耐されます。

主は牧師たちを遣わし、御言葉を宣べさせ、預言者を遣わし、あらゆる手段でメッセージを送り続けてくださいます。それでもなお、人々は背を向け、その愛を踏みにじり、信じようとしません。そのとおりではありませんか？

19 では、もう一度、お祈りいたしましょう。

天の父よ、御子イエスの愛のうちに、今夜、私たちをお受け取りください。

私たちは、へりくだった者として御前に来ました。自分には価値がないことを告白しつつ、どうか、私たちと共にいてくださいますようにと願います。

神よ、ここにおられる病んだ方々、必要を抱えた方々に、

どうか憐れみをお示してください。そして、この夜が

皆にとって大いなる祝福のときとなりますように。父よ、

あなたが、私のような貧しく迷った罪人を深くかがんで拾い上げてくださったことを思うとき、胸がいっぱいになります。そして今、

神の恵みによって、私はあなたの子どもとされました。この中にも、同じ思いを抱いている方がたくさんおられます。私たちは、ただ息をしているのも、

あなたが息を与えてくださっているからです。この会場を満たしている

あなたの偉大な御霊は、ここを巡る空気のように自由に、豊かに流れておられます。少し前に、父よ、電気のこと、そしてエジソン氏が昼も夜も休まず、

その“電流を運ぶ導線”を探し求めたことを話しました。主よ、この何年もの間、

私はひとつのことを学びました。癒しの“電流”を運ぶ導線はただ一つ——

それは“愛”と“信仰”です。私は信じます。今夜この場所——このスタジアムの中には、神の力が満ち満ちており、病んだすべての者を癒し、あらゆる業を成すのに十分すぎるほどの力があることを。私の父なる神は決してお偽りになりません。私は主を愛し、主に信頼しています。神よ、イエスの御名によって祈ります。ここにいるすべての人が、あなたを受け入れ、あなたを信じ、そして今夜、癒されますように。私は主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

20 主が皆さんを祝福してくださいますように。では、よろしいです。[(ブラナム兄弟が誰かに小声で話す。)] [テープの切れ目] どうか、静かに、敬意をもってお待ちください。人々が冷えこんで不快に感じてもらえるのはよくわかっています。

冷え込み、寒さ……こういう時は難しいものです。私はこれまでも、

こう手を固く握りしめなければならないほどの寒さの中で立ち続けたり、顔に雨が叩きつけ、嵐の中で奉仕をしたこともありました。

しかし、それでも、私たちの先祖たちが通ってきた試練に比べれば、

私たちの苦勞など、わずかなものではありませんか？

ですから、しばらくの間、敬虔な心で静まりましょう。

——さて、ここに私の前に一人の婦人がおられます。

私は、これまでの人生でこの方にお会いしたことはないと思います。

姉妹、私はあなたのことを知りません。

もし私に彼女を助けるために何かできることがあるのなら、

私は喜んでそうしたいのですが、私にできる唯一のことは、

彼女をイエス・キリストにお導きすることだけです。

その主がすでに、彼女に助けを備えてくださっているのです。

どうか今夜、神の恵みによって主が彼女を助けてくださいますように。

主が豊かな祝福を彼女にお与えくださるよう、私は心から、へりくだった祈りを捧げます。皆さん、どうか静かに祈っててください。私がこの婦人に話しているあいだ、どうか私のために祈ってください。もしかすると、

主が今夜、特別な恵みをお与えくださるかもしれません……。

21 さて——ここにおられる皆さんは、イエス・キリスト、神の御子の“臨在”が

どこにでも満ちていることを信じますか？そして、一羽のすずめでさえ、

道に落ちることがあれば、神がそれを知らずにはおられない

——皆さんはそう信じますか？もしそうなら、ここにこうして祈り求めて

集まっている神の子どもたちのところに、主が共におられないはずがありません。そうでしょうか？ですから、もし主がこの私たちのただ中に御自身を現してくださるなら、それは昔なされたのと同じように現されるはずです。

そのとおりですね？すると、サマリヤの井戸端の女の場合のように、

私はしばらく、この婦人と言葉を交わす必要があるでしょう。

その中で、主が私を“ある方向”へ導かれるかもしれません。

あるいは、誰に対しても何も語られないかもしれません。

私はわかりません。それは神のなさることです。神がご存じであり、

私は何もわかりません。

22 さて、姉妹よ、これからあなたにお話ししますが、どうか私の問いかけにそのままお答えください。あなたはキリストを信じる方ですから、私はあなたを“姉妹”としてお話しします。私はあなたを知りません——あなたについて何一つ知りません。神が御存じですが、私は今、人生で初めてあなたを見ているのです。

あなたはどこかで祈りのカードを受け取り、このプラットフォームの上に来られました。しかし、神は——あなたが生まれたその時から今日まで、

ずっとあなたを知っておられます。あなたがこれまで口にしたりしたすべての食べ物を与えられたのは神であり、あなたが吸うその息も神が与えてくださったのです。

そうでしょう？そして、もしあなたのために何かできることがあるとすれば、

それをなさることが出来るのは神だけです。あなたにどんな問題があるのか、私は知りません。何一つわかりません。けれども、もしそれがどのような問題であれ、神がそれを明らかにしてくださると私は信じています。きっとそうしてくださいませ。——あなたは手術を控えた問題を抱えておられますね？そうではありませんか？私がその言葉を言った時、あなたの内側で“何か”が動いたでしょう？

私はあなたがあの診察室にいるところを見ました。そして医師があなたに何を告げたかも見えました。……少しだけ、このマイクから離れてお話できますか？

(ブラナム兄弟が女性に小声で話す)私は自分ではそのことを知るはずがありません。しかし全能の神が……私はこの女性を生涯で一度も見たことがありません。

聖霊がここに立ち、ありのままを正確に示されたのです。ここにおられる皆さんの中で、この婦人のことをご存じの方はおられますか？……はい、結構です。

姉妹、今私が申し上げたことはすべて真実でしたか？もし真実でしたら、人々が見えるように手を上げてくださいますか？

23 聖書はこう言っています。「慰め主、すなわち聖霊が来られるとき、あなたがたにこれらのことを思い起こさせ、また、来るべきことを示される。」

そのとおりですね？神の聖霊——これを見たなら、この会場にいるすべての人は

イエス・キリストが今夜ここにおられる——そのことを確信すべきです。

真実でしょう？姉妹よ、主があなたを祝福してくださいますように。

手術をしなくて済むことを私は願っています。しかし、もし手術が必要になったとしても、主があなたを助け、執刀する医師の手をも祝福してくださいますように。では、どうぞこちらへ——祈りのためにお越しく下さい。

私はただ、信じる者としてあなたに手を置くだけです。

あなたはとても神経が張りつめ、心が乱れています。

当然のことです——誰でもそうなるでしょう。

でも、私はこう思います。それほど心配する必要はないでしょう。

あなたは、まだまだ長く生きられると思います。少し、祈りましょう。

——では、皆さん、どうか頭を垂れてください。この婦人は深刻な状態なのです。天の父よ、このあなたの娘が今夜ここに立ち、

私の前におられます。私は先ほど、ここでビジョンが開け、まるでその部屋の中に入り込むように状況が示されたのを見ました。そこにいた人々が誰であったか、何があり、どんなことが過去に起こったか——あなたはそれらすべてを知っておられ、今この場でそれを明らかにされました。ああ、キリストよ——

私たちは、なんと不完全で、なんと価値のない者でしょう。しかしこの可愛い姉妹——私の姉妹、そしてあなたの娘である彼女の上に、私は今、手を置き、

神の憐れみと助けを求めています。どうか、これを彼女にお与えください。

今ここにおられる神の大いなる御使いよ、あなたは彼女の心を知り、

彼女の人生で起こったことを知り、それをこの場で示すことがおできになります。どうかこの姉妹の信仰が高く高く舞い上がり、完全に癒されますように。

このしもべの祈りをお聞きください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。姉妹よ、主があなたを祝福されますように。

数日後、あなたがどうなったか、ぜひ知らせてください。そして、どうか——
少しも疑わないでください。喜びながらお帰りなさい。

24 さて、今夜ここにおられる皆さんの中で、
もし心のどこかに少しでも懐疑心を持っていた方がいるなら、
今こそイエス・キリストをあなたの救い主として受け入れるべきです。

不信は“罪”だからです。

私は……そうです、

私はあの婦人を癒すことはできませんでした。

癒したのは神です。

しかし私は、

あの姉妹はきっと良くなると信じています。

先ほど、彼女の周りがぱっと明るくなりました。

それを見て、彼女は癒されると確信しました。

どうか敬虔な心で、さらに見守りましょう。

——では、この小柄な婦人ですね。

あなたが次の方ですか？

さて、姉妹よ、

あなたはイエス・キリストをどのようにお考えですか？

あなたは、今日でもなお、

イエス・キリストは昔と同じお方である

——そう信じておられますか？

はい、そうですね。

そのとおりです、姉妹。

この世が何を言おうと関係ありません。

それは真理を少しも変えません。

あなたは、

聖なる神への愛のうちに生きながら、

この冷淡な世に迎合し、

世と友になって歩むことはできますか？

できませんね。

そして神もまた、

義なるお方として、
すでに義とされた民に
怒りや裁きを注ぐことはできません。
ですから、
裁きが下るためには、
人々が今のような状態——
この霊的無関心と不信の状態に
落ち込まなければならなかったのです。
すべてのことは、
神の御手の中で進められているのです。

- 25 私はただ、あなたと少しお話をしたいだけなのです。
そのために、こうして語らせてもらっています。
すべてのことは、完全に神の御手の中で進んでいるのです。
サタンはこの世の人々を縛りつけていますが、
それでさえ最終的には
神が語られたとおりの成就へと進んでいるのです。
ですから、そうなるべきなのです。
かつてのパロのように……
今も同じことが起きているだけなのです。
しかし——
私たちの主は、私たちにはなんとお優しいお方でしょう。
そして、あなたが主を救い主として見出し、
そのように主を愛し、
永遠のいのちの望みが
あなたの内に宿っていることに
心から感謝しておられるでしょう？
いつかこの体が塵に帰る時が来ても、
あなたは生き続けるのです。
そのとおりです。
そしてその日には、
あなたは再び立ち上がります——
若い婦人として。
そうです、姉妹。

あなたはよみがえるのです。

神の御言葉がそう約束しているからです。

あなたが二十一、二十二歳の頃の姿――

その若々しきで、

永遠に生きるのです。

ただし、覚えておいてください。

あなたは“天使”として戻ってくるのではありません。

神は天使を天使として造られました。

しかし神は、あなたを“女性”として造られました。

復活とは――

「別のものを作り替える」ことではありません。

「あるものの代わりに何か似たものを置く」という意味でもありません。

復活とは、“同じ本人を再び立ち上がらせる”ことです。

ですから、あなたは……

26 私は今、ただあなたとお話をしているのです。

ちょうど私たちの主が井戸のところで

あのサマリヤの女に語られたように……。

わかりますね？

あなたもあの箇所を読んだことがあるでしょう。

あなたは、手術を受けられましたね？

直腸の問題でした。

事実でしょう？

そして今、別の問題で苦しんでおられる。

――胆石ですね。

それから腎臓の問題もある。

さらに……。

(婦人「腎臓はわかりませんが、ほかに問題があります」)

ええ、姉妹。

(婦人「婦人科の問題です」)

そのとおりですね？

ええ、真実ですね。

では、もう少しだけ、

あなたと私で静かに話しましょう。

私があなたの状態について話し始めたとき、
私はただ“それ”が通り過ぎるのを見ていたのです。
そして“それ”が私に語りかけるのと同時に
私はそれを口にしましたが、
あなたがそれを言われる直前に、
私はすでに“それ”を見ていました。
もしかしたら、主はさらに別のことを
示してくださるかもしれません。
そうすれば、
あなたの信仰がもっと強められるでしょう。
私は――
あなたに元気になってほしいのです。
本当に、癒されてほしいのです。
もちろん、私自身には何もできません。
あなたが眼鏡をかけておられることは
会衆のみなさんにもわかることです。
例えば、「あそこに足の不自由な人がいます」と私が言っても、
それは隠されたことではありません。
誰でも見ればわかります。
あの青年が歩けないのも同じです。
しかしあなたは、見たところ元気そうにも見えます。
外からはわからないのです。
あなたは、私を主のしもべと信じますか？
「信じます」
神の預言者だと？
「信じます」
今、ここで神がこれらのことを
私に示しておられることを本当に信じますか？
「ほんとうに信じます」
ありがとうございます、姉妹。
あなたは心のすべてで信じておられますね。
「はい、信じています。主が示してくださったのだと信じています。」
では、もう一つのことを……。

あなたには病気のご主人がおられますね？

「はい」

ご主人は心臓の問題を抱えておられる。

「はい、そのとおりです」

それも真実ですね？

真実なら、皆の前で手を上げてください。

「お医者さんがそう言いました」

そのとおりです。

では、あなたも——ご主人も——

主イエス・キリストのみ名によって、

家に帰り、癒されなさい。

神があなた方を祝福してくださいますように。

27 皆さん、どうか深い敬意をもって、静かにしててください。

先ほどのあの婦人のとき……

時々あることなのですが、

私はこの集会の中で、

本来あるべきほど深く“油注ぎ”に入ることが

これまでどうしてもできませんでした。

本当に油注ぎが深くなると、

会衆全体が霊の風に揺らされるようになります。

けれども、

先ほどは私が“あること”を捉えようとしていたのです。

婦人が話しておられ、

私より先に口を開かれたので、

ちょうど“それ”が私に語っている瞬間に、

私はそこに追いつかなければなりませんでした。

もう少し長く話せば、

もちろん、さらに多くのことが起こります。

そのことは皆さんもご存じでしょう。

主が皆さんを祝福してくださいますように——

これが私の心からの、

謙遜で誠実な祈りです。

28 こんばんは、姉妹。あなたは今夜、この大空の天幕の下に立ちながら、

あの星々を輝かせられた神があなたを見つめておられる——そう信じますか？

そして、困っている人々を助けようとしている今、私たちが神のご計画の中にいると信じますか？また、今日という時代が、ちょうどノアの時代のように——

人々が結婚し、嫁ぎ、不品行な装いをし、道徳を失い、好き勝手に振る舞っている時代であり、その中で主が再びご自身の“働き”を始めておられると信じますか？そして、そのメッセージが批判され、あざけられながら伝えられていることが、まさに聖書が予告していた通りであると信じますか？——それこそ、

私たちが終わりの時代の近くに生きている非常に強いしるしなのです。

そうではありませんか？では、あなたは神が今ここにおられ、あなたを癒してくださると信じますか？信じるのですね。私たちは互いに初対面ですね？

私はあなたを知りません。ただ、何か主がしてくださることがあるかどうか、

少しお話ししているだけです。

あなたはこのあたりにお住まいですか？(婦人「ミルタウンに住んでいます」)

はい、そうですか。わかりました。では——

これが地上で私たちが初めて会った時ですね。お会いするのも、見るのも初めて。(婦人「はい、そうです」)あなたがクリスチャンであることはわかります。

(婦人「はい、そうです」)では、ここに一人の婦人が、別の町から来られたクリスチャンとして立っています。全能の神——今夜、私たちの審判者であられる主の御前において、私はこの婦人をこれまで一度も見たことがありません。

そして婦人も、私をこれまで一度も見たことがありません。私たちは完全な他人です。彼女はただ、祈りのためにこのプラットフォームに上がって来られただけです。

29 さて、もし聖霊が……

もし私が語ってきた

「神についての真理」、

そして

「イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも同じ方である」

というその真理が本当であるならば——

主イエスご自身は、

癒しを“行った”のではなく、

御父が示されたことだけをなされた

——そうですね？

しかし、主は人々の心を知り、

彼らが何を考え、

どんなことをしてきたかを知っておられました。

(そのとおりですね？)

では、こう考えてください。

もし、今この姉妹——あなたは私の姉妹です——

彼女に関する何か(私は何も知りません)

彼女の人生のことを

聖霊が語られるとしたら、

それは主が今夜ここにおられる

“直接の証拠”ではありませんか？

全くそのものずばりの証拠でしょう。

そして皆さんご存じの通り、

私はただの一人の人間――

あなた方と同じ、

普通の人間にすぎません。

私が、今ここで教会にお伝えしたいのはこれです。

この小さな集まりでも、

神が祝福を現し始められると、

人々が押し寄せて来るようになります。

しかし、もし皆さんが落ち着き、

その働きがどういうものかを理解していれば、

来られる新しい人々を

導いたり助けたりできるようになります。

そして、

油注ぎが建物全体に

スーッと流れ始めたとき、

人々が口々に話し始めるような場面でも、

どう対応すべきか

皆さんはわかるようになります。

なぜなら、

そこにはきつと“初めて来た方々”もいるからです。

その方々は、まだ何が起きているか

理解していないかもしれません。

30 さて、この婦人はクリスチャンです。

そして私たち二人は今、

全能の神の御前に立っています。

ここには神の聖書が置かれ、

神は私たちを見つめておられます。

私たちは互いについて

何ひとつ知りません。

ただ、こうしてここに立っているだけです。

しかし――

神は私たち二人を完全にご存じです。

そのとおりですね？

神は私たちの名を

御自分の書に記しておられます。

もし今、

聖霊がここから

この姉妹に語りかけてくださるなら、

私たちの側には

もはや、少しの疑いも残りません。

ただ

「それは真実だ」

と告白するしかなくなるでしょう。

31 では、姉妹よ、

ほんの少しだけ、またお話しさせてください。

さきほど少しお話ししましたが、

もう少しだけ続けたいのです。

あなたは、これまでに何度も

聖書を読まれたことでしょう。

そして、主がどのように語られたかを

ご存じのはずです。

あるとき、ペテロにこう言われましたね。

彼らが納税のためのお金を必要としていた時のことです。

イエス様は言われました。

「行って水に釣り針を入れなさい。

最初にかかった魚を取りなさい。

その口の中に一枚の銀貨がある。」

私はよく考えるのです。

主は一体どの“次元”で働かれて、

あの出来事を起こされたのだろうか？

と。

主ご自身が説明しておられますね。

“父が示されることだけを行う”と。

そのとおりです。

魚は何も知りませんでした。

ただ、神に導かれて釣り針に食いついただけです。

そして、神はすでに

「その魚が来る」

と示されていたのです。

主イエスは言われました。

「わたしは、父が示されることのほか、

何一つ行わない。」

さて、私たちの天の父は、

今夜も昔と変わらない神様ですね？

私たちも、

主のひとり子イエス・キリストの恵みによって、

神の息子、娘とされているのです。

そして、

同じ御霊が私たちのうちにおられ、

主が再び来られるその日まで、

主がなさっていたと同じ働きを続けてくださる。

それが主のご計画なのです。

なんと素晴らしいことでしょう。

(婦人「はい、本当にそうです。」)

32 あなたには、かなりの問題がありますね。

それは——腎臓の問題と、膀胱の問題です。

そうでしょう？

(婦人「はい、そうです」)

そして、よく気にしておられることがもう一つありますね。

体に、みみず腫れのようなものが

しょっちゅう出るでしょう？

そのとおりですね？

私はあなたが、それをかきむしったり、

手で押さえたりしている姿を見ます。

それは蕁麻疹のようですが、

実際には——

腎臓からくる酸性の状態が原因なのです。

そのとおりです。

特に朝がつらいですね？

(婦人「はい」)

そうでしょう？

私は、あなたが洗い物のためのボウルのようなものに向かい、

後ろを向いて腕をこすっている姿を見ました。

あれは朝の時間でした。

そうです。

そして、

水に手を入れるたびに症状が出るのです。

——なんと素晴らしいことでしょう。

主があなたにそれを示してくださるなんて。

真実でしたか？

もし真実なら、

会衆に向かって手を上げ、

「これは真実です」

と言ってください。

(婦人「真実です——全部です。」)

さあ、あなたは私が話しているのを聞きましたね？

でも、今語ったのは私ではありません。

私では……ありませんでした。

それから——

今、あなたのそばに男性が現れました。

それはあなたのご主人です。

彼にも癒しが必要ですね？

(婦人「はい、そうです」)

それは——

脱腸ではありませんか？

(婦人「はい、そうです」)

そのとおりですね？

本当なら、皆さんの前で手を上げてください。

(婦人「本当です」)

では、祈りましょう。

天の父よ、

私はこの二人のために祈ります。

どうか今夜、この婦人をここから送り出し、

家に帰ったとき、

彼女も夫も共に癒され、

長い年月を幸せに過ごすことができますように。

この身体を苦しめる病と痛みを呪い、

あなたの大いなる御霊が

二人ともを癒してくださいますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

主があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

33 さあ、皆さんで言いましょう——「神に栄光あれ！」神に栄光あれ。

“God(神)”という言葉は、「礼拝の対象」という意味を持っています。

そして神は、礼拝されることを望んでおられるのです。イエス様は言われました——「神は霊である。したがって、神を礼拝する者は、“霊”と“真理”によって礼拝しなければならない。」では、“真理”とは何でしょうか？主は言われました。

「わたしが“真理”である。」そして今夜、その“真理”であるお方が私たちのただ中におられます。その臨在は、聖霊によって証しされているのです。

主は霊であり、真理であり——今夜ここにおられるのです。先ほどの婦人が

「それは真実です」と言いました。ご主人も「真実です」と言いました。

では、それは“真実”なのです。私たちが疑う余地はありません。

ああ、なんと素晴らしい主でしょう！では、次の方、来られますか？

皆さん、できるかぎりの敬意をもって静まり、祈りの心でいてください。

私は、一人ひとりに少し時間をかけすぎていることを自分でもわかっています。

ですから、これからは少し急ぎ、できるだけ多くの方のために祈りたいと思います。時間が過ぎていきます。閉会の時間まで、もう5分ほどですから……。

どうか、心を静めて、敬虔に、こちらを向いて、私のために祈ってください。

私のために祈ってください。私は——あなたがたの兄弟です。

34 さて……皆さんも、もしそこで信じるだけで癒されます。ただ、信じ続けてください。神を信頼しなさい。こんばんは、姉妹。あなたは今、心のすべてで信じていますか？信じますか？——そうですか、それを聞いて

私は本当に嬉しく思います。あなたには、いくつもの問題がありますね。貧血、喘息……そして全身が弱りきっています。そうでしょう？ただ衰弱し、いくつもの症状が重なり合っている。事実ですね？主がそう示されました。(姉妹「はい」)では、ちょっとこちらへおいでなさい。神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

ああ、天のお父様……この小さな、年老いた手が今、私の手の上に置かれています。この手は、泣く赤ん坊の涙を何度も拭ってきたかもしれません。

揺りかごを揺らし、子どもがケガをして「お母さん」と泣いて来たときには、

その涙にそっと口づけし、抱きしめ、慰めてきた手かもしれません。

けれど神よ——今夜、この涙を拭い、この痛みを揺り動かして静めてくださるのは、あなたの御手です。あなたにしかできません、主よ。どうか、そうしてくださいますように。私はこの姉妹が癒されるよう祈ります。今、イエスの名によってこの姉妹の癒しのために手を置きます。アーメン。神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。喜んで帰りなさい。神に感謝し続ければ、

あなたは良くなります。さあ、皆さんで言いましょう——「神に感謝します！」

35 さあ、姉妹、こちらへ。あなたは心のすべてで信じますか？

もし聖霊が、あなたの問題を——たった一つでも——私に示してくださるなら、

あなたは癒しを受け取りますね？(婦人「はい」)あなたには腫瘍があります。

そうでしょう？そのとおりですね。では——心のすべてで信じて行きなさい。

そうすれば、あなたは良くなります。イエス・キリストの御名によって、

この女性を祝福し、癒しがなされますように。アーメン。

皆さん、信仰を持ち続けてください。では、次の方。

あなたは信じますか、姉妹？信じますね。私たちは互いに知らない者同士ですね？もし聖霊が、あなたの問題を私に示されるなら——イエス様があの婦人に

「あなたの夫を連れて来なさい」と言われたように——それだけで十分です。

あの婦人は言いました。「この方は、私のことをすべて言い当てられた」と。

しかし実際には、主は彼女に“ひとつ”のことしか言われませんでした。

けれど、もし神が示されるなら、主は何でも言うことがおできになりました。

ですから、もし私が“ただあなたの問題を一つ言う”だけであっても、

ご家族のことも、過去の人生のことも言わなくても、あなたは“癒し主としての主”を今夜受け入れますか？あなたは、世界で最も危険な病のひとつを抱えています。他のどんな病よりも多くの人を奪う病——心臓の病です。そのとおりですね？

では今夜、癒しを受け取りますか？主イエスよ、私はこの姉妹の癒しを祈ります。どうか今夜ここを出て、完全に良くなりますように。イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。あなたは、“信じる”と約束しましたね。

では、喜んで帰りなさい。神に感謝しながら。癒しは、そのようにして受け取るのです——神に感謝し続けることによって。

36 こんにちは、姉妹。あなたは、先ほどの姉妹と同じように信じていますか？

信じますか？……今、そこにいる誰かに血液の問題があります。

——あの婦人、でしょうか。そこに座っておられる方です。そうでしょう、姉妹？

少し貧血気味ですね。そうですか？私は、あなたの上に光が何度も降りて来て、

あなたの上に留まっているのを見ました。まるで血が“滴る”ような感じで、

そのように見えたのです。はい、立ち上がってください。私は、今その場であなたが癒されたと信じます。主がちょうど今、あなたを癒されたのです。

神があなたを祝福してくださいますように。私はその光をはっきり見ましたが、どこにあるのか最初は分かりませんでした。その辺りが少し暗かったので、正確な位置が見えにくかったのです。主が二度、動かれました。

ここ、プラットフォームから離れて、まっすぐあなたのところへ行き、あなたの上に留まりました。そして私は“血の動き”を見るように感じました。

けれど、それが何かを最初は判断できませんでした。ここに立つ私からそちらを見ると、少し暗がっていて見分けるのが難しいのです。さて、姉妹——

もし、聖霊があの方婦人に語られたように、あなたの問題も示してくださるなら、あなたは癒しを受け取りますか？「はい、受け取ります」今夜ここを出るとき、

“私は癒された”と告白しますか？「はい、そうします」あなたはガンで苦しんでおられます。そうですね？では——あなたが言った通りにしなさい。

主イエス・キリストの御名によって、この姉妹が癒されますように。

神があなたを祝福されますように。

37 では、どうぞ来てください。

さあ、兄弟よ——

あなたは心の底から信じますか？

もし神が、

“あなたに何の問題があるのか”

ただ一つ、ここで語ってくださるなら、

あなたは信じて、

その癒しを受け取りますか？

その土台はこうです。

まず第一に、神の御言葉がそう語っている。

そして次に、

聖霊のご確認が、今ここで示される。

そうですね？

それで、あなたのケースにも

間違いなく当てはまりますね？

本当ですね？

——糖尿病です。

その通りでしょう？

「はい、その通りです」

神があなたを祝福してくださいますように。

さあ、行って、癒されなさい。

天の父よ、

この兄弟を癒してくださるよう祈ります。

イエス・キリストの御名によって——

彼がもう二度とインスリンを必要とせず、

すぐに良くなり、

医者が“完全に治った”と宣言するようになりますように。

イエスの御名で祈ります。

神があなたを祝福してくださいますように、兄弟。

はい、どうぞ。

38 あなたは背中の痛みがありましたね、姉妹。

はい、兄弟よ。

では行きなさい——

主イエスの御名によって、癒されなさい。

神を信じなさい。

あなたは信じることができますか？

皆さん——

どなたでも、

もし主を信じるなら、

神はそのとおりにしてくださいます。

ただ信じなさい。

あなたの信仰を、今、ぐっと引き上げて

こう言ってください。

「主よ、あなたはここにおられます。」

もし私が神のことを少しでも知っている者であり、

もしあなたが私を神のしもべと正しく判断しているのなら——

聖霊は今、この会衆の上を動いておられます。

今ここで、何が起きても不思議ではありません。

あなたがすることはただ一つ——

信じることです。

さあ、来なさい、婦人。

そちらで毛布をかけて座っているあなたが見えます。

あなたが来る前に、

その腫瘍(しゅよう)が

“信じるなら離れていく”

とお伝えすることもできました。

あなたは信じますか？

「アーメン」

神があなたを祝福してくださいますように。

では行って、癒しを受け取りなさい。

イエス・キリストの御名によって。

39 神様があなたを祝福してくださいますように、若いお嬢さん。

あなたはまだとても若いのに、こんなにつらい思いをしている。

あなたには糖尿病がありますね。

それは、子どもにとっては特に重いものです。

そうでしょう？——子どもにとっては。

でも、あなたは信じますか？

イエス様が今、ここにおられると信じますか？

このプラットフォーム(壇上)に主が臨んでおられると信じますか？

あなたの癒しを受け取りますか？

こう言いなさい。

「主なる神様、私はよくなります。」

(「主なる神様、私はよくなります。」)

主なる神よ、

私はこの子の上に臨む糖尿病を、

イエス・キリストの御名によって退けます。

どうか、この病がこの子を離れ、

完全に癒されますように。

神様があなたを祝福してくださいますように。

お医者さんが何と云うか、見てごらんください。

さて——

あなたの背中の痛みも、兄弟よ、

主が癒してくださいます。

行って、よくなりなさい。

神様があなたを祝福し、強めてくださいますように。

さあ、皆さん言いましょう。

「神に感謝します!」

アーメン。

信じなさい。疑わないで。

そうすれば神はそのとおりにしてくださいます。

アーメン。

さあ、来なさい、婦人。

あなたもご自分の癒しを求めているのですね?

あなたには小さな娘さんがいますね——

その子も癒しを必要としている。

(そうでしょう?)

では、行きなさい。

あなたも、お嬢さんも、二人とも癒されなさい。

神様があなたを祝福し、完全にしてくださいますように。

さあ、皆さん言いましょう。

「神をほめたたえます!」

あなたは心から信じますか?

神様があなたを祝福してくださいますように。

あなたも同じです。

40 あなたは信じますか?

そうであれば——

神様は今ここで、あなたを…(癒すために)おられます。

さあ、行きなさい。

神様があなたを祝福してくださいますように。

癒されなさい。

はい、そうです。

お二人とも、行ってよくなりなさい。

主イエスのお名前によって。

……兄弟よ、

私はあそこにひとりの男性が見えます。

ちょうどそこ——私を見つめている、あの列の二番目の男性です。

そこに 暗い影 のようなものが見えます。

その方は、
何かから解放されたい、と願っているようです。
それは悪霊です。
そして今——
その霊がこちらにいたのが、ずっと動いて、
その方へ行くのを私は見ました。
あなたには、
ある種の欲のような霊——
手放したいと思っているものが、
あるではありませんか？
そうでしょう？
立ち上がってください。
主は今、
あなたをその束縛から解放してくださいました。
兄弟よ、あなたは癒されました。
家に帰りなさい。
主イエス…(神様があなたと共におられます)。
ちょっと待って……
あなたは祈りのカード(Prayer Card)を持っていましたか？
——持っていなかったのですね。
いいのです。
祈りのカードは必要ありません。
ただ、信じるだけでいいのです。
……これで終わりですか？

41 あなたがた残りの方々も、癒されたいですか？信じますか？

よく考えてください。私があなたがたに語っていることが真実だと、正しく判断していますか？神がそれを真実だと証ししておられると、信じますか？

私はあなたがたの兄弟です。そしていつの日か、あなたがたのことについて、

私は神の御前で答えなければならないのです。そうでしょう？ここにおられる全ての方——イエス・キリストはすでにあなたを癒しておられます。

いいですか？今なされていることは、あなたの信仰を引き上げるためなのです。

では、私に協力していただけますか？この中で“病がある”という方はどれくらいおられますか？手を挙げてください。……では、あなたの隣にある手をご覧ください。その人の上に、あなたの手を置いてください。

できますか？もし神が、この壇上(プラットフォーム)での私の祈りを聞いてくださるなら、会衆全体の中

でも同じように聞いてくださると思いませんか？

そうでしょうか？では、しばらく頭を垂れてください。全能の神よ、天と地を造られ、永遠のいのちの作者、すべての良き賜物を与えてくださる方よ。今夜、この寒さの中に座しているこの会衆を、私はあなたにおゆだねします。彼らが互いに置いた手をご覧ください。サタンよ、出て行け。主イエス・キリストのみ名によって命じる。ここにいる一人ひとりから離れよ。今すぐに、完全に離れよ。アーメン。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7